



デジタルかかしプロジェクト

棚田を有害獣から守る夜間見回りシステムと 防除志向型囲い罠技術の研究開発

海野紗綾 安永泰成 大見彩名 加藤彩花 秋田悠河
福知山公立大学 情報学部 (指導教授 山本吉伸)

獣害対策と地域のニーズ



集落全体を囲う
防護柵の設置

囲い罠の設置



塞げない公道



公道上には**防護柵**
を設置できない



毛原の棚田
(けはらのたなだ)



**囲い罠閉扉の
リアルタイム指示**

囲い罠に幼獣が入った段階で自動閉扉すると成獣を逃し学習されてしまうため、目視で手動閉扉したい。しかし現状のネット監視カメラでは**時間遅延が生じて捕獲の障害**となっている

高い学習能力を逆手に取る

- おもりを落下させることで**網**を急速上昇させて有害獣を包む構造の罠
- 有害獣が**網**の危険性を学習することが目的。仮に逃しても問題ない「防除志向型」
- 公道には通常の**網**を置くだけ

遅延の少ない監視カメラ

- VPNによりカメラ側端末とユーザのスマホを**直結**
- 白黒映像・低解像度など**リアルタイム性向上**の調整



起動前



起動後

基本構造の構築と動作確認完了。今後は効果検証を進める予定



動作試験動画



毛原にあるゲストハウス「サライ」で合宿、カメラの性能評価実験を開催



監視カメラ等機材

